

カメ丸くんと一緒に遊ぼう



府中市内にはたくさんの文化財があります。今回はそれらの一部を紹介したすごろくを作ってみました。遊びながら学んでみましょう。

《キットに入っているもの》

- すごろくボード2枚1組
- サイコロ・コマ作成用シート1枚
- アンケート1枚

《自分で用意するもの》

- のり
- はさみ



《すごろくの遊び方》

準備しよう

- すごろくボードは点線の部分で貼り合わせ、2枚を1枚にしよう
- サイコロとコマを組み立てよう

遊び方

- それぞれ好きな色のコマをえらぼう
- すごろくボード「1. 武蔵野の森公園」にコマをおこう
- ジャンケンで順番を決め、サイコロを振り、出た目の数だけコマをすすめよう
- 止まったマスに書いてあるルール(赤い字)に従おう

★ルールに従って移動した先のマスルールには従わなくて良いよ！

ゴールの「31. ふるさと府中歴史館」を目指してがんばろう！
だれが一番最初にゴールにつくか競争だ！



カメ丸くんと一緒に学ぼう

すごろくボードは地図をベースに、その場所にある文化財関連施設や、その付近で出土した遺物を紹介しています。さらに、遺物はどの時代のものなのか一目で理解できるように色分けして表示しています。

場所はあくまで目安です。訪れる際は、正しい地図をご確認のうえ、お出かけください。

旧石器

旧石器時代 狩猟・採集を中心していた時代

縄文

縄文時代 ムラが出現し集団生活・定住が始まった時代

弥生

弥生時代 水田稲作が本格的に行われた時代

古墳

古墳時代 古墳が作られた時代

古代

古代(奈良・平安時代) 平城京(奈良)・平安京(京都)に都が置かれた時代

中世

中世(鎌倉・室町時代) 武士が活躍した時代

近世

近世(江戸時代) 江戸に幕府が置かれた時代

近代

近代(明治～昭和) 明治維新から第二次世界大戦がおわるまで



ムサシカメ丸君のお家でドキ土器冬休み2021

ムサシカメ丸 歴史すごろく



さくろくをしながら楽しく学ぼう! 解説シート

見 = 見学施設あり

1. 武藏野の森公園 朝日町3丁目ほか 見

武藏野の森が広がる美しい景観が楽しめます。

2. 細石刃 天神町3丁目ほか

長さ2~3cm程の小さな石器。モリやヤリの先に並べて装着し、狩りに使ったと考えられています。

3. 参道口跡 栄町3丁目17-1(万作の木公園) 見

分かれ道。西に行くと国分尼寺、北に行くと国分僧寺に。国分僧寺に向かう道には門も発見されていて、参道口にあたるとみられています。

4. 武藏台遺跡公園 武藏台2丁目29 見

石が敷かれた竪穴建物。家の真ん中には炉があり、そこで煮炊きしていました。復元された遺構を見学できます。

5. 東山道武藏路 武藏台1丁目ほか

東山道とは奈良の都と諸国の国府(役所)を結んだ道路の1つ。武藏路は、東山道の枝道で、幅12mもある大きな道でした。

6. 武藏府中熊野神社古墳 西府町2丁目9 見

古墳といえば前方後円墳!ですが、この古墳は四角の上に円がのった上円下方墳。復元された姿は圧巻。古墳展示館も併設されています。

7. 土偶 本宿町1丁目



土製の人形。写真的土偶は、体と足が40mも離れた場所から見つかりました。儀礼のためわざと壊して別々の場所に埋めたとも考えられます。

8. 四谷五本松 四谷5丁目 見



甲州(今の山梨県あたり)から来た商人を四ツ谷村の人々が助け、その恩に報いるためにクロマツを植えたという伝承があります。

9. 中河原の渡し 11. 是政の渡し 住吉町5丁目 是政5丁目 見



昭和に橋が架けられるまで渡し舟で多摩川を渡っていました。中河原と是政には渡舟場が設けられ、ここから対岸へ渡りました。

10. 郷土の森博物館 南町6丁目32 見

歴史・文化・自然・天文を総合的に学べる施設です。発掘調査で出土した遺物も展示されています。

12. 中世水田跡 是政1丁目



府中第八小学校での発掘調査で、鎌倉時代の屋敷と水田跡が発見されました。科学分析を行ったところ、土中からイネの成分が検出されています。

13. 勾玉 白糸台6丁目



Cの形に磨いた石のアクセサリー。全長3.5cm、重さは約20gの大粒。産地が限られる翡翠製で、当時の貴重品でした。

14. 常久一里塚 清水が丘3丁目15 見



江戸時代の道標。江戸から続く街道に約4kmごとに作られました。常久一里塚は日本橋から7里(約28km)に位置します。

15. 白糸台掩体壕 白糸台2丁目17 見



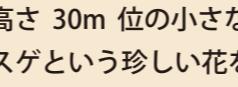
太平洋戦争中に、戦闘機を隠すために造られた施設。戦闘機がすっぽり収まるドーム型。市内では2基現存しています。

16. 落とし穴 朝日町3丁目ほか



狩猟のための罠。シカやイノシシなどの動物を落として捕まえました。穴の底には杭を立てた跡が確認できることもあり、逃げられない工夫がされていたようです。

17. 浅間山 浅間町4丁目・若松町5丁目 見



高さ30m位の小さな丘。5月頃に訪れるとき、ムサシノキスゲという珍しい花を見ることが出来ます。

18. 人見原古戦場 若松町5丁目



鎌倉幕府滅亡後、南北朝の動乱期におこった戦い。新田義貞の子、義興・義宗の軍と足利尊氏軍が戦いました。左は、郷土かるたの「ひ」。

19. クヌギの種子 八幡町2丁目



豎穴建物跡からまとめて出土した木の実。クヌギの種は渋くて食べにくいため、布を染める染料に使われたと考えられています。

20. ペンダント 日吉町



土製のペンダント。紐を通すための穴が空いています。また表と裏で違う模様になっています。お守りとして身に付けていたのかもしれません。

21. 分倍河原古戦場 分梅町2丁目59-1 見



1333(元弘3)年5月15日の戦い。北条泰家率いる鎌倉幕府軍と新田義貞率いる反幕府軍が戦いました。この戦いでは義貞軍が一時撤退しました。

22. 高倉塚古墳 分梅町1丁目1 見



分倍河原駅周辺は円い古墳がたくさん築かれていたエリア。高倉塚古墳はその中でも墳丘が残り貴重。頂上に登ることができます。

23. 墨書「市」 片町3丁目



墨で「市」と書かれた土器。「市」とは「市で使う」という意味で、ここが国府の市場だったと考えられます。

24. 大量出土銭 宮西町1丁目



大量の銭が詰まった大きな甕が2つも発見されました。合計約15万枚。貯金か、はたまた儀礼のためか、理由はよくわかっていません。

25. 井戸 府中町1丁目ほか



近くに水場がない場所では井戸を掘りました。中には、写真のような巨大な井戸も。人々が集う賑やかな場になっていたのでしょうか。

26. 「多麻多麻」 緑町1丁目



甕に刻まれた文字。「多麻」は現在の多摩にあたります。千年以上前から使われている古い地名なんです。

27. 河童形土偶 若松町1丁目



平らな頭の土偶。その姿から、考古学者は河童形と呼んでいます。河童を知らないはずの縄文人は何をイメージしてデザインしたのでしょうか。

28. 木製仏像 宮町1丁目



大きな甕に入っていた、長さ約4.5cmの小さな仏像。埋葬の際に、手向けのために入れられたものと考えられています。

29. 国衙跡 宮町2丁目5-2 見



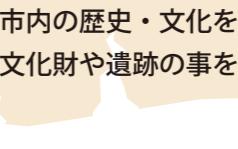
武蔵国を治めた役所跡。政治・経済・文化の中心地でした。建物の柱が復元されており、その大きさを体感することができます。

30. 鬼瓦 本町1丁目13-3 見



徳川家康が鷹狩の際に宿泊したと伝わる御殿があった場所で、徳川家の家紋「三葉葵紋」の鬼瓦が発見されました。

31. ふるさと府中歴史館 宮町3丁目1 見



市内の歴史・文化を紹介。文化財や遺跡の事を楽しく学べるコーナーもあります。